

公表日： 令和7年3月13日

事業所名：こども発達支援ルーム ぶらすup

対象人数（保護者）27人 回答者数 15人 回収 55.6%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	9	4	2	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	13	1	1	
【ご意見についての回答】 お様が伸び伸びと安全に活動できるよう、運動する部屋と落ち着いて過ごす部屋、学習や課題に取り組む部屋など活動ごとに分けたり、公園な どの公共スペースを利用したりなど工夫しています。また、当事業所では国が示している職員配置基準以上の職員数を配置しており、「児童分野 での経験や保育士などの療育分野」や「身体機能へのアプローチとして理学療法士・言語聴覚士などの機能訓練分野」、各分野のスペシャリスト を配置しております。なお、生活空間においては、感染症予防としまして次亜塩素酸水溶液を使用し、教材、机や椅子、ドアノブ等の消毒を行 い、安全に気持ちよく過ごしていただけるよう取り組んでおります。					
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	12	1	2	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	3	1	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等 デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	13	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサ ービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移 行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要 な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援 内容が設定されていると思いますか。	12	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われて いると思いますか。	13	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	9	5	1	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の こどもと活動する機会がありますか。	12	3		町内の方々や保育園への交流があり、とてもよ いと思います。子どもも楽しいと喜んでます。
【ご意見についての回答】 国が示している放課後等デイサービスガイドラインにおける5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関 係・社会性）に沿って、自立課題、運動活動、性教育学習、外出活動、季節行事や出前講座などいろいろな活動を組み合わせて活動を設定して おります。また、保育園訪問やハロウィンやクリスマスなどの行事において地域交流を図れるように、ボランティアや地域の方にご協力をいただ いております。今後も引き続き、お子様の発達状況、ご本人や保護者様のニーズを踏まえつつ、将来の自立に向けた支援についての個別支援計 画を作成し、計画的に療育を行う中で、「楽しかったな」「また来たいな」と思ってもらえるよう工夫してまいります。					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	3	1	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	5		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	1	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	3	2	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2	2	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		発信されているが、全面的に最新のネット関連に全て頼り過ぎている面が目立つ。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2	1	個人情報の管理は大丈夫ですが、プライベートな内容はまれに他者にこぼれている。

【ご意見についての回答】

貴重なご意見をいただきありがとうございます。スマートフォンやタブレットなど普及した時代の流れに合わせて、環境への配慮やより早く確実に確認いただける方法として、「HUG」というシステムを利用しております。その中で、日々のお子様への療育の様子を写真付きで配信したり、連絡事項等についてもメール送信しております。また、相談の申し入れがあった際には、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう取り組んでおります。ただ、ご意見のようなことがないよう、お子様の状況を伝え合い、共通認識を深められるより良いコミュニケーションが図れるよう検討していきます。なお、個人情報の取り扱いにつきましては、改めて職員への指導を徹底し、個人情報が記載された書類等は鍵付きのキャビネットに保管したり、保護者様にお渡しする書類に不備がないようダブルチェックをするなど、引き続き取り扱いには十分に留意してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
非常時等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			災害時の引き渡し訓練があることがよいと思います
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	4		
【ご意見についての回答】 安全計画の中で、職員を対象とした避難訓練を年2回実施したり、その他に消防署や警察署の方のご指導のもと、防犯訓練や救急救命講習、消防訓練等を行い、有事の際に備えております。また、事故・防犯・災害・感染症などの各マニュアルについては、施設内に設置したり、保護者セミナーにて説明しております。事業所内でより安全に安心して活動していただけることはもちろんですが、お子様自身にも自分で自分の身を守る力を身につけていただけるよう、月1回の防災教室は今後も継続的に取り組んでまいります。					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9	6		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	7	1	支援がお仕事だと重々理解はしているものの、他の子供達との接触もあるため、重度な障がい者だけを特別視せず、楽しく過ごせる環境づくりを心がけてほしい。イベント等の楽しさだけではなく、毎日顔合わせする友達や先生との信頼関係や見てもらえている安心などの関わり方や、平等な対応で通所する事を本音で子供が本当の意味で安心して通いたいと心から思えるようになってくれると思う。現在は遊びは楽しんでいるようだが、先生達を子供が警戒しているので、親としても、尚更子供が可愛いばかりに、嫌な話を聞かされるたびに警戒して悪いイメージが付いてしまう。
	29 事業所の支援に満足していますか。	9	5	1	遊びや定期的なイベントもわかるが、子供が勉強、おやつタイムの後の自由時間を遊びだけでなく、やるべき宿題に取り組み、毎日のルーティン化を目指してほしい。本当に余った時間の中で遊びや運動を取り入れるなど、子供に合わせて何を優先させるべきかを日々の生活の中で時折変わっていくものを判断し、もっと変化に対応して本当に必要か不要かの判断の上で取り組む内容を見分けて実行する事を学ぶ事も先生も子供と共に学んでほしいと思っている。
【ご意見についての回答】 貴重なご意見をいただきありがとうございます。当事業所では、国が示している放課後等デイサービスガイドラインをもとに、小学生を中心とした『「できる!」を増やす療育支援』、中学生を中心とした『将来の「働く」へ向けた療育支援』、全体として共通して取り組む「コミュニケーション力アップの療育支援」や「機能訓練」を軸に活動プログラムを考え、療育活動に取り組んでおります。ご指摘のありました宿題に関しては、保護者様からのニーズは多いので、出来る限り取り組めるよう環境設定等を行っておりますが、本来の療育活動に支障が出る場合には、ご相談させていただくこともございますので、ご理解・ご協力をいただけますと幸いです。なお、貴重なご意見をもとに改めて事業所内で協議し、今後もぶらさずupの運営、療育支援に満足していただけますよう、職員一同、研鑽を重ねてまいります。					